



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行：横浜スペイン協会 横浜市鶴見区岸谷 2-18-4 年4回発行（1月4月7月11月）

新年親睦パーティー

今年も晴天に恵まれて中身の濃い新年親睦パーティーを2月2日（土）「KKR ポートヒル横浜」で開催することができました、昨年に続き桜田さんと武菱さんとの軽妙な司会により、初めに下山会長の開会ご挨拶に続き、ご来賓の日本スペイン協会木下常務理事、名古屋スペイン協会相沢事務局長よりお言葉をいただきました。今回は、会員の約4割に当たる36名という大勢のご参加をいただき、その中から新会員の方々、そして現在スペイン語クラスを担当していただいている栗山先生、山田先生、ビクトール先生、アラン先生、4月開講予定の入門クラスから新たに担当していただく中園先生にもご挨拶いただきました。また、今回初めて声をかけた神奈川大学から参加してくれた留学生2人からもフレッシュな挨拶がありました。会場では、キューバ出身のカルロスとルドウウィグによるすばらしい歌、ギター、パーカッションの演奏を楽しみながら、栗山先生とカルロスとのデュエットや桜田さん、福長さん、武菱さんによるドン・キホーテの寸劇もあり、大変盛り上がりしました。後半は、恒例となった吹き矢タイムを参加者全員で楽しんだほか、サルサなどの演奏をバックにダンスタイムが入るなど、盛りだくさんの企画で当初予定していた時間を延長することとなりました。最後に、理事全員で皆様にご挨拶を申し上げると共に、協会の各種活動へのご参加をお願いしてお開きとなりました。ここに今回の新年親睦パーティーにご参加いただいた皆様に厚く御礼申し上げますと共に、今回は諸事情等でご参加いただけなかった皆様には、次回は是非ご参加いただきますようお願いいたします。

（岩田岳久）



横浜スペイン協会新年親睦パーティーが2月2日（土）に、KKR ポートヒル横浜で開かれました。



港の見える丘公園隣のホテルで、素晴らしい青空と爽やかな新春の日差しに恵まれました。

まずは、下山会長が、来年創立30周年を迎えるにあたり、色々な企画を考えていると挨拶されました。ご来賓、先生方の紹介、挨拶と進行役の桜田さん、武菱さんが、楽しく場を盛り上げて、コント付きミュージカルまで、披露してくれました。音楽ゲストは、キューバの作曲家&歌手のカルロス、パーカッションはルドウウィグさん。ラテンムードに包まれ、おいしい料理とお酒、歌とダンスの楽しいパーティーでした。最後に吹き矢大会が行われ、みな童心にかえり、真剣勝負をしました。今年は50人以上の参加で、会は盛況のうち、終わりました。（佐藤順子）

●対外交流

名古屋スペイン協会「日本・スペイン交流懇親会」

於：名古屋名鉄グランドホテル 2018. 12. 12

ドン・キホーテとサンチョ・パンサの銅像が飾られているのを見ながら懇親会の会場に入りました。そこはスペイン風装飾の中に日本風の飾りつけや屋台等が混然とする中で何処となく落ち着いた雰囲気漂う不思議な空間が広がっていました。これが先山下山会長にお供して参加させて頂いた名古屋スペイン協会の懇親会で受けた第一印象です。スペイン大使館からアントニオ・カサード・リガルト政務参事官が出席され、氏のご挨拶の中で益々緊密となってきた日西の友好関係を特に述べられていました。名古屋スペイン協会石黒会長のご挨拶に続き、日本スペイン協会会長、神戸スペイン協会会長とともに横浜スペイン協会の下山会長が挨拶され当協会の活動や各地のスペイン協会と交流を深めていきたいとお話されました。近隣都市の市長や名士の方々の他、学生やスペイン人の若い方も多く参加されていました。スペシャル・アトラクションとして人気グループ「Boy & Men」の歌と踊りが披露され会場は盛り上がり、和やかな雰囲気の中でスペイン料理やワイン、シェリー酒を頂きながら皆様と楽しくお話させて頂きました。(福長昭代)

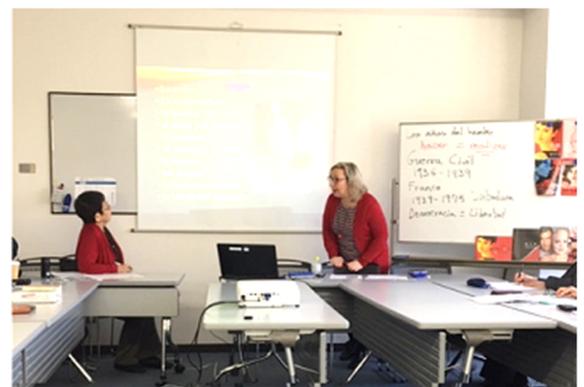


●スペイン語クラス

「新聞・雑誌をスペイン語で読む会」特別講座「アルモドバルの世界」 Paloma Trenado 講師

於：波止場会館 2019. 2. 23

1949年、ラ・マンチャ地方で生を受けたスペイン映画界の巨匠ペドロ・アルモドバル監督。旅商人の父は常に不在、母をはじめとする女性に囲まれて育ちました。8歳で住み始めたエストレマドゥーラ地方で、弟と共に映画館通いを始めます。赤土と青空、光と影、黒い喪服の世界で育ったあの時代の少年に、画面に溢れる色彩はどんなに刺激的に映ったことでしょうか。17歳でマドリードに出て、フランコ没後から現在に至るまで、民主主義スペインを撮り続けています。自身の原風景の中に、欧米のクラシック映画、カウンターカルチャーやポップアート、パンク文化など時流をうまく織り交ぜています。あらゆる社会階層の人が登場し、自由だけど窮屈な人生。世界共通のテーマが共感を呼びます。日本未公開作品を含め、22本の映画が撮影されました。私もその多くに触れましたが、通り一遍の鑑賞では理解できないアルモドバルの世界、Paloma Trenado先生の解説に「なるほど。確かに！」と思う場面が数多くありました。改めて鑑賞したいと思います。(山田るりこ)



2019年度前期スペイン語教室

前期講座開始日：2019年4月1日

創立29周年を迎えた横浜スペイン協会が運営する歴史のあるスペイン語教室です。当協会のスペイン語教室はスペイン語の習得だけでなく、スペインの文化にも幅広い知識や理解を深めることを目指しています。

1) お知らせ

- ・前期は4月、後期は10月に開講しますが、入会は随時できます。
- ・最初に見学を希望される方は、3教室、3回まで無料で見学ができます。
定員15名を超えた場合は、別のクラスに誘導させていただく場合があります。
- ・入門、初級クラスは日本人講師の指導でしっかり基礎を学び、中級以上は本場スペイン語ネイティブ講師が指導します。
初めてスペイン語を習う方向けの「リリオ」クラスを4月から開講します。
- ・「新聞・雑誌をスペイン語で読むクラス」は各期に1回、外部から講師を招き特別講義を実施します。
今期の予定は< 3) その他 >をご覧ください。

2) 実施中のスペイン語教室

2-1) 横浜駅西口教室

クラス名	レベル	項目	講座内容
1	入門	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1.2.3 木曜日 13:00~14:30 中園 竜之介先生 「はじめてのスペイン語」ナツメ社 今期開講の新しい講座です。初めてスペイン語を始める方やもう一度基礎からやり直したい方向けのクラスです。簡単な日常会話程度を目指します。 ¥1,500/回
2	初級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1.2.3 水曜日 10:30~12:00 栗山由美子先生 「Plaza Amigos」Español para hablar 開講後2年目後半を迎え、直説法の復習を通して基礎知識の充実を図ります。 ¥1,500/回
3	初級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1.2.3 木曜日 10:30~12:00 山田るりこ先生 「ESPIGUITA」朝日出版社 「直説法過去」時制以降を主とした基礎的なスペイン語文法と、 現在形を使った実践的な会話練習を行います。 ¥1,500/回
4	初・中級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3月曜日 13:00~14:30 山田るりこ先生 「Entre Amigos 2」 毎週シンプルな作文でアウトプット練習と文法の復習を行い、 スペイン語会話に繋げて行きます。 テキスト「Entre Amigos 2」を使い文法練習をします。 ¥1,500/回
5	初・中級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3月曜日 10:30~12:00 山田るり子先生 1.講師作成のオリジナルテキスト 2.短編小説 Lola Lagoシリーズ「Lejos de casa」 冠詞の用法と接続法をオリジナルテキストで学習します。 また短編小説の読解を通じて単語力・表現力をつけていきます。 これらを交互に進めていきます。 ¥1,500/回
6	中級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3月曜日 13:00~14:30 ビクトル先生(Prof.Victor Pérez バルセローナ出身) 第1、第2月曜日は「Español en Marcha4」 第3月曜日はフランシスコ・ガルシア・パボンの「El Carnaval」を読みます。 テキスト、物語は一回の授業で1~2ページとゆっくり進みます。 毎回交代で簡単に自分の出来事などをスペイン語で話します。 授業はスペイン語で行われます。 ¥1,500/回

7	クラベル	中級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3 水曜日 13:00～14:30 フランシスコ先生(Prof. Francisco J. Garzón Bravo グラナダ出身) 「Ele Actual B1」、物語読本「El Libros sin Autor」 基本的なスペイン語の文法を一通り終了しもう一段階上のスペイン語を目指すクラスです。 第1、第2水曜日:「Ele Actual B1」及び練習問題のプリント 第3水曜日:近況をスペイン語で発表した後、スペイン語の物語を購読 授業はスペイン語で行われます。 ¥1,500/回
8	ビオレタ	中・上級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3 水曜日 10:30～12:00 リタ先生(Prof. Rita Cantero アルゼンチン出身) 「El mundo en español B」 HABLA CON ENE社 現在のスペイン語及び中南米について学びます。 会話中心の授業を展開しながら、芸術・文学・歴史・社会・伝統・習慣などを幅広く学びます。 授業はスペイン語で行われます。 ¥1,500/回
9	ヒラソル	中・上級	授業日 講師 講座内容 受講料	第1・2・3 水曜日 10:30～12:00 フランシスコ先生(Prof. Francisco J. Garzón Bravo グラナダ出身) 第1水曜日「Alatriste」(1人の男の冒険・歴史roman)の映画鑑賞と台本購読 第2,3水曜日ガルシア・マルケスの「Crónica de una muerte anunciada」を購読 授業はスペイン語で行われます。 ¥1,500/回
10	チャルラ	上級	授業日 講師 講義内容 受講料	毎月最終月曜日 10:30～12:30 (開講日は、協会HPをご覧ください) ビクトル先生(Prof. Victor Pérez カメリアクラス講師) スペイン語の新聞・雑誌等から政治、経済、社会、文化、その他の記事を取り上げ、それに関するディスカッションを通じて、スペイン語力の向上を図ることを目標にします。 ¥1,500/回
11	文法講座	集中講座	授業日 講師 講座内容 受講料	毎月1回 (火曜日もしくは木曜日に開講) 山田るり子先生(アマポーラ、ハスミン、セレソクラス講師) ・文の構造 ・日常会話の中でよく使う定型句や熟語その他 すでに学習した文法を復習します。 会員・クラス受講者: ¥500/回、そのほか: ¥1,500/回

2-2) 横浜海岸通り教室

波止場会館 教室所在地: 横浜市中区海岸通り1-1				
	クラス名	レベル	項目	講座内容
12	新聞、雑誌を読むクラス	上級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第4土曜日 10:15～11:45 栗山由美子先生 スペインの新聞・「El País」の記事を使用。 スペインとラテンアメリカ情勢を中心にしてスペインから見た世界の情勢を勉強します。 (討論は日本語で行われます。) 記事の内容を理解するには上級程度の語学知識が必要です。 ¥2,000/回(テキスト代その他を含む)

3) その他

・夏期講座: 7月末～8月初にかけて計5回開講、スペイン語圏講師により様々なテーマで講義が行われます。

・今期の「新聞雑誌をスペイン語で読むクラス」の特別講義は以下の予定です。

日時: 6月22日 10:15～11:45

場所: 波止場会館(港湾労働会館)

テーマ: 「カタルーニャの独立運動」

今回に限り、私たちにとって分かり難いテーマを日本人講師に明快に講義して頂きます。

➡ 上記2講座の詳細は、決まり次第横浜スペイン協会のホームページでご案内します。

● お問い合わせ、お申し込み先: 下記のメールアドレスにご連絡をお願い致します。

E-mailアドレス: Spanish_class@yokohama-spain.jp

(spanishとclassの間にアンダーバーが入ります)

●スペイン・サロン

《スペイン料理を作って食べる会》 講師：丸山久美 於：横浜技能文化会館 2018. 12. 15



関内・伊勢崎長者町にある横浜技能文化会館にてスペイン家庭料理研究家の丸山久美先生を講師にお迎えして[スペイン料理を作って食べる会]が開かれました。丸山先生はマドリッドに14年暮らされた経験からスペイン料理を知り尽くされており、本場の味に触れることができました。私は2016年以降今回で3回目となりましたが、参加者は毎回盛況で定員(24名)を超えました。今回は鶏肉のチリンドロン(アラゴン地方の郷土料理でヘミングウェイが好きだったことで有名な煮込み料理)、ロシア風サラダ、ムール貝のエスカベチェ、リンゴのオープン焼きの4品でした。過去3回で14品の料理作りを体験でき、スペイン料理が一層みぢかに感じられるようになりました。各グループとも全員協力して予定時間内に完成することができ、その後別室にて各班ごとに試食会を行いました。ただ今回は会館の規則上、ワインが持ち込めなかったことが残念でした。(原 健三郎)



《ヘミングウェイの愛したスペイン》 講師：今村楯夫 於：かながわ県民センター2019. 3. 9

ヘミングウェイの名前は私に、高2の夏休みに英語で読んだ「老人と海」が簡潔で短い文体でわかり易く、キューバの老漁師とカジキとの戦いの場面に引き込まれていったことを思い出させた。

スペイン・サロン「スペインの光と影：内戦の記憶」は思わぬ展開となった。内戦の史実を語るのではなく、文庫本で4ページほどの短編小説「橋のたもとの老人」を読み始めた。1938年4月17日復活祭の日曜日、それは内戦の最中、川向こうの味方の拠点を見回り敵軍の進み具合を探る任務について私が橋を渡って、引き返す途中で老人を見つける。鉄縁の眼鏡をかけ薄汚れた老人と私の会話を描いたスケッチであり、陰鬱な内戦の風景と羊や猫や鳩を心配している老人は映画のシーンを見ているかのようであった。ヘミングウェイの素晴らしさは、絵画をイメージしふさわしい人物像を創り上げ文字で視覚的に描くことだ。読み手は、気になった処に付箋をつけ、読み終わって再度、その個所を読むことで小説の真髓を見つけることができるとおっしゃった。明日から実行してみようと思った。(吉田美紀子)



《次回 スペイン・サロンのお知らせ》

ギターを通して見るスペインとアルゼンチン…二人のドン・アンドレス…

講師：清泉女子大学教授 長野 太郎

日時：2019年4月13日（土）13：00～15：00

場所：かながわ県民センター1501号

参加費：一般1000円、学生500円

お申込み&お問合せ：spain_salon@yokohama-spain.jp(服部、平本)

●スペインサークル

《旅でスペインを識ろう会》

*「思いがけないものを見た！バスク、ログローニョ近郊の旅」～栗山由美子先生

於：かながわ県民センター2019.2.18

新聞・雑誌クラスで教えていただいている栗山先生の旅の会に参加しました。日本でお仕事を通じ知り合った方を訪ね、まずはバスク出身の彫刻家ご夫妻とビルバオ、エカイン、ゲタリアを巡ります。街の紋章にクジラが描かれているのは、中世の時代にバスク人が精力的に捕鯨を行っていたことに由来。またアルタミラ洞窟と並ぶ1.5万年前、後期旧石器時代の洞窟壁画があるエカインベリは、先生にとって思いがけない体験でした。次に向かったリオハの州都ログローニョでワイナリーの方と再会。巡礼の路途上の街には中世の様相が色濃く残り、そこから車で城壁で囲まれた街ラグアルディアへ。紀元前二千年頃といわれる巨石文化のドルメンや、ケルト人がイベリア半島に流入し定住した地であるなど、ここにもまた大変古い歴史あり。地元の方と一緒に旅して得られた今回の発見の数々に、まだまだ知らないことがたくさんあるスペインに興味を尽きることはありませんとおっしゃっていました。先生の純粋な好奇心に刺激され、私もスペインへの憧れの気持ちを新たにしました。（関 敬子）



*「スペイン留学」～新沼順子さん

於：かながわ県民センター2019.1.21

新沼さんは、かつてご夫妻でスペイン各地の旅を楽しまれていましたが、ご主人を亡くした後は、悲しみの中で時を過ごされておりました。そんな中、改めて初めからスペイン語を学ぼうと思い、マラガでの約2週間のホームステイの語学留学に旅立ちました。先生はメルセデス先生。彼女は長年、外国から来る人のスペイン語学習に携わってきた方です。先生の第一声は、フランス人、ドイツ人、イギリス人は話すこと、聞くことができるが、日本人は、これが苦手、ところが



読み書きのテストでは、一番成績が良いとのこと、以後この日から聞くことと話すことを主として、テキストはメルセデス先生がその場でつくるノートを進めたとのこと。留学中、午前は学習、昼は先生手作りの美味しい食事、午後はマラガ周辺の買い物、散策や観光へ。私が興味を持ったのは、スペイン南部のこの地で開拓を行っている場所を訪ねたとのこと、開拓者はノルウェー人。ノルウェー人？と思いつつ、時間となりました。旅することは、たくさんの思い出も好奇心も持つことなのかと感じた時間でした。(武菱邦夫)

《CLUB2020》

於：鶴見大本山総持寺 2018.12.18

今回は鶴見の大本山総持寺で座禅体験という企画で山田先生以下 20 名の参加でした。香積台で受付し簡単な注意事項を受けたのち、長い百間廊下を通り偉容を誇る伽藍の説明を受け乍ら回廊を経て広い座禅道場に案内されました。座禅を組む前に座蒲の扱い、手及び足の組み方、姿勢や呼吸の仕方、視線の位置などの説明を受けて、鈴の合図で座禅の世界へ・・・約 15 分・・・曹洞宗の座禅は瞑想と異なり“余計な事を考えず、ひたすら座る事で自ら仏性を見出す精神の鍛錬”と言われていますが皆さん邪念を排し無心に成られたでしょうか？座禅終了後の昼食は精進料理、食事の前後に作法がありこれも貴重な経験でした。総持寺の修行僧は約百人とか、冬は 4 時半の振鈴で起床“起きて半畳、寝て 1 畳”が修行僧の居場所とされ、厳しい座禅と作務をこなす日々に関心の一言でした、この体験をスペイン語に表現できたらと思い乍・・・鶴見駅で解散しました。

(熊谷 忍)



三松閣の前で記念撮影



●シネマサロン

「家へ帰ろう」「El último traje」

監督・Pablo Solarz, 2017, スペイン、アルゼンチン

アルゼンチンに住む頑固な 88 歳の仕立て屋・アブラハムは人生の最後に一大決心をする。「第二次世界大戦中にホロコーストから自分を助け、海外へ逃がしてくれた親友に自分が仕立てた上着を届けたい。」マドリードのホテルの女主人マリアは列車に乗り遅れ、お金も盗まれた彼を励まし、当地に住む絶交中の彼の娘からお金を借りるよう説得させて成功。パリ・モンパルナス駅ではドイツ人の文化人類学者・イングリッドがドイツの土地を踏みたくないという彼に知恵を貸してくれる。列車がポーランドに入ると、彼はナチの軍人たちが大騒ぎをしている妄想の中をさまよい歩き、倒れてしまう。次のシーンでは明るい病室の中、看護師のゴーシャが面倒を見てくれている。



元気になると彼女の車で故郷・ウッチを訪ね、ようやく親友に会うことができた。どこかで大事な上着もなくしてしまっただが、過去への癒しの旅を完了した。誰かが助けてくれるたびに彼のかたくなな心が和らぎ、茶目っ気も発揮される。このストーリーは監督の祖父の家では「ポーランド」という言葉を言うてはならなかったことから発想されたという。(松本益代)

●スペイン文学余話 (5)

「カラタユーへ行ったならば Si vas a Calatayud」 (I)

30年ほど前の夏、カラタユーの友人に招かれてサン・ロケ祭にでかけたことがある。マドリードを発つ朝、宿のコンセルへに行先を聞かれ、「カラタユー」と答えると「ドローレスに会いに？」と返してきた。とまどう私に年配のコンセルへは、「決まり文句ですよ」とだけ言ってルームキーを受けとった。ドローレスという女性が登場する有名なコプラ copla を知ったのは、ずっと後のことである。1880年代、バルセロナの作家フェリウ・イ・コディナ Feliú y Codina (1845?-1897) は、急行でマドリードから帰る途中、アラゴン地方の小駅で、列車が停まるたびギターの弾きがたりを聞かせて糧を得る盲目の芸人と遭遇した。目の不自由な芸人は黄金世紀の文学作品にも描かれ、19世紀末までは各地で見られたようだ。彼が歌った4行詩の曲調はホタであった。「カラタユーへ行ったならば、／ドローレスがどうしているのか尋ねて欲しい。／彼女はとても美しい娘で、／いつも優しくしてくれる。Si vas a Calatayud, / pregunta por la Dolores, / que es una chica muy guapa, / y amiga de hacer favores.」フェリウはこの歌に着想を得てロマンセ、戯曲、小説と様々な形式でドローレスの物語を創作した。トマス・ブレトン Tomás Bretón (1850-1923) の『ラ・ドローレス *La Dolores*』(1895年)は、そのオペラ化である。カラタユーの居酒屋で働く美しいドローレスは、町の金持ちや軍人などに言い寄られている。彼女を捨てた理髪師メルチョールは過去との関係を言い触らし、婚約者がいるのに彼女を弄ぼうとしている。ドローレスに一途な想いを寄せる神学生ラサロが、彼女を守ってメルチョールを殺す劇的な筋立は大好評を博した。改作されて多くの歌や映画が生まれ、町の名が全土に知れ渡ると、ドローレスは不道德な女の代名詞であると同時に、カラタユーの女性 bilbilitana の代名詞となった。よそ者がその名を口にすると町への侮蔑とみなされ、ひどい目にあわされたので、「カラタユーへ行ったならば、ドローレスのことは尋ねるな」という警句まで生まれた。今日では町おこしの目玉としてドローレスの記念館があるくらいだから、そんな心配も無用である。ところで、ドローレスとは一体どのような女性だったのだろうか。(次回につづく：吉田彩子)

●会員の活動報告

《魅惑のサルスエラ講座体験記》

於：銀座スペインクラブ 2019. 2. 10

2月10日(日)に横浜スペイン協会の皆さん10名で第4回サルスエラ講座ランチセミナーに参加しました。今回はサルスエラ VS オペラという興味深い内容です。18世紀後期に流行ったモーツァルトの「フィガロの結婚」から始まりヴェルディ、ビゼーの有名なオペラの演目を桜田さんはじめテノール、バリトン、ピアノの絶妙なコンビで次々と演じていきました。ますます冴え渡る桜田節のテンポの良い軽妙なトークと歌と踊りに引き込まれていきます。しかしその



ままではすまされません。19世紀後半から今までオペラに凌駕されていた「サルスエラ」の逆襲が始まるのです。4人のサルスエラ作曲家が立ち上がり、オペラと張り合うのではなくサルスエラ独自の色を出して住み分けをする演目を出し続け、大衆の心を掴んでいきました。そしてつい



には「サルスエラ」という独自の文化を定着させていきました。忍耐の時代から近代までを物語風に桜田さんが演じてくれ、ますます「サルスエラ」への理解が深まりました。紙面の関係で省きますが、セミナーのあとはイベリコ豚のコースランチです。トーク・歌・踊りを堪能し、かつランチもいただきお得感満載で気分よくお開きになりました。(星野信行)

《日本初上陸記念公演 アリ・アランゴ with 高木洋子》

於：杉田劇場 2019.1.12

協会会員の高木洋子さんとギタリストのアリ・アランゴさんのコンサートを鑑賞する機会がありました。初めに、パラグアイのギタリスト兼作曲家・バリオスの「大聖堂」という曲を高木さんが表現豊かに演奏されましたが、私どもはその名曲の世界に心地よく誘われる様なそれは素晴らしいものでした。次に、キューバ出身の世界的なクラシックギタリストのアリ・アランゴさんが、まずフラメンコギターテクニックで「グアヒーラ」を奏でその軽快なリズムがグアヒーラのコンパスに小気味好くはまりグングン引き込まれて行きました。この日は、クラシックからキューバ音楽まで幅広いジャンルに亘る演奏があり、その豊かな才能に圧倒されました。お二人の共演による「アランフェス協奏曲」はそれぞれ演奏者の良さが強調されながらもよくシンクロナイズしていて感動的な「アランフェス協奏曲」でした。(福長昭代)



横浜スペイン協会 設立 30 周年記念事業

🌸 さくら植樹 ロンダ市友好親善ミッションについて

来年 2020 年は横浜スペイン協会設立 30 年の年を迎えます。当協会は設立以来、スペイン各地に桜の苗を植樹し、両国間の市民相互の文化交流を末永く発展させたいと願い、過去 5 回のさくら植樹活動をして参りました。中でも当協会設立のきっかけを作った 1993 年 3 月のロンダ市における 200 本の桜の植樹は記念すべきものでありました。その後 2000 年にはロンダ市の代表を横浜にお招きするなど、計 3 回に亘り植樹と共に様々な市民相互の文化交流を行ってまいりました。

この度、当協会の設立 30 周年記念事業のメインイベントとして、2020 年の 4 月上旬の桜の咲く時期に、協会会員を中心としたメンバーでロンダ市を訪問して、さくら植樹と文化交流の計画をしております。その準備の為、昨年末に会員有志による「2020 年さくら植樹プロジェクト」を発足させました。4 月初旬には、事前打ち合わせの為、プロジェクトメンバー 4 名にてロンダ市を訪問し、



過去のさくら植樹を現地でリードして下さったカベッサさん、故春田美樹画伯夫人のレメディオさん、ロンダ市役所関係者にお会いして、詳細を詰めて参ります。この記念事業は、当協会にとって大変重要なイベントであります。駐日スペイン大使に着任されたトレド大使へのご挨拶に、先日スペイン大使館にお伺いした際、本事業の報告と支援をお願いして参りました。桜に関連し、2005年に協会設立15周年記念事業として、駐日スペイン大使館庭園へ「横浜緋桜」を寄贈させて頂きました。私は毎年ナショナルデーのお祝いに大使館を訪れる際、立派に成長した桜の姿を見るのを楽しみにしています。過去には桜の開花時にお花見に招いて頂いたこともありました。このように、桜は横浜スペイン協会にとってシンボリックな存在です。会員の皆さまにお配りしている、協会のバッチに桜がデザインされている訳もお解りいただけると思います。そして今回、設立30周年に於いても大使館の庭に桜の植樹を提案させて頂きました。現在、設立30周年記念事業の企画、準備が進んでおります。その進捗につきましては、今後、適宜ご報告致します。ご期待下さい！

(会長 下山利明)



武菱理事、デオリ文化参事官、下山会長、トレド大使、岩田理事（左から）大使館にて



2005年寄贈「横浜緋桜」と記念プレート（2018年撮影）



第1回植樹1993年ロンダ市の桜（2005年撮影）



ロンダ市市長と初代下山会長1993年



2015年さくら植樹 レオン州カネド



2017年さくら植樹 レオン州ビエルソ

***** 協会からのお知らせ *****

2019年度定時総会のご案内

日時：2019年6月1日（土）PM14：30～15：30（終了予定）

会場：神奈川県民センター 604号室

総会終了後 スペイン・ロンダでの「2020年さくら植樹プロジェクト」事前調査結果をご報告させていただきます。

さらに、会員間の交流も兼ね簡単な茶話会を設けます。創立30周年の記念イベントについても会員の皆様と意見交換ができればと思っております。お気軽にお出かけください。

***** 新会員紹介 *****

山路 雅章 (Masaaki Yamaji) 横浜市神奈川区在住 2019年2月入会
スペイン語に興味があります。4月からリリオクラスで勉強します。よろしくお願ひします。

今村 楯夫 (Tateo Imamura) 横浜市青葉区在住 2019年3月入会
長く東京女子大学で現代アメリカ文学を担当し、特にヘミングウェイ研究を行ってきた。ヘミングウェイを通してスペインに興味を抱き、スペインを訪ねる機会を持ちました。歴史や文化などを協会員の方々といっしょに学びたく思います。（現在、東京女子大学名誉教授）

<<賛助会員各社の会員サービス内容>>

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛助会員	住 所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サングリア1杯無料
スペインバル ボデガ・デ・サリア	東京都港区台場2-2-1 ザ・クルーズ・ダイアネックスホール1F	03-5531-2151	生ビール一杯無料

《編集後記》ユーロが20周年を迎えました。ユーロ通貨は旅行の時その便利さを改めて感じます。私が学生の頃はヨーロッパを旅行する際、各国の通貨を行った先々で両替しながらでした。隣国へ移動する都度小銭を使い切ろうとガムやチョコを買ったりしませんでしたか？フラン、マルク、リラ、ペセタ、懐かしい… (A.S)

編集長/下山綾子 編集委員/ 岩田岳久 臼井慎一 古賀恵子 下山利明 武菱邦夫 服部君江 平本紀子 福長昭代 松村清

投稿寄稿宛先 E-mail 全般：info@yokohama-spain.jp
スペイン語教室：spanish_class@yokohama-spain.jp
スペイン・サロン：spain_salon@yokohama-spain.jp
ホームページ：http://www.yokohama-spain.jp/

今回の原稿締切は
6月10日(月)です